

勝浦SUPマリブチャレンジ安全対策マニュアル

R2. 9. 8

目次

1. 救護体制
2. 救護用品、物品
3. 人員計画
4. 中止の決定
5. 津波の場合
6. 事故発生対応フローチャート
7. 保険



1. 安全対策体制

主催 NPO 法人 ウォーターフィットネス協会
大会運営母体 勝浦SUPマリブチャレンジ実行委員会

実行委員長 森 和仁
Wowアクションスポーツ代表、
NPO法人ウォーターフィットネス協会理事長

安全委員会 高梨三千尋／090-6471-6335
マリブポイント代表、勝浦ライフセービングクラブ

運営委員会 藤本瞳、五味幸奈

レースディレクター 森 和仁
Wowアクションスポーツ

ライフセーバー 10名程度
窓口：勝浦ライフセービングクラブ
代表者：吾妻

水上バイク 2名（2艇）

無線管理 秋山隆太
城山無線

2. 救護用品、物品

- ・レスキューボード 7本
- ・レスキューチューブ 10本
- ・フィン 3セット
- ・バックボード 1台
- ・ホイッスル 人数分各自用意

・ファーストエイドキット 1セット

・毛布

・トランシーバー 5台

・水上バイク 2艇

・拡声器 2つ

・AED 1台

・双眼鏡 5台

3. 人員体制

●3.0Km（最大60名）男女別

時間：8：00 制限時間45分

形態：1000m三角ブイを3周

ブイ：沖ブイ1点。縦横400×200

配置：250m（1辺）に2名配置

●1.0Km（最大60名）男女別

時間：10：00 制限時間45分

形態：1000m三角ブイを1周

ブイ：沖ブイ2点。縦横400×200

配置：250m（1辺）に2名配置

●300mキッズレース

時間：12：00 制限時間20分

形態：浅瀬横に直線150mを1周

ブイ：横に150m

配置：6名で囲むように

●300mBig SUP レース

時間：13：30 制限時間50分

形態：浅瀬横に直線150mを1周

ブイ：横に150m

配置：6名で囲むように

○陸での救護

救護兼陸上からの監視テントは本部下に 1 張り設置。
応急処置キットを用意。

★ジェットを使用する場合の搬送は、全て本部テント前の砂浜へ搬送。救急車は、臨海荘下の三区駐車場へ侵入させる。

4. 中止の決定

天候不良の場合は以下の基準・状況で開催を中止とする。

<海洋条件>

- | | |
|-------------|---------------------------|
| ・ 風速 9 m以上 | 銚子气象台情報 |
| ・ 波高 2 m以上 | 銚子气象台情報、気象庁発表沿岸波浪予報 |
| ・ 視界 500m以下 | 最沖のブイ（400m）を目視で確認できること（霧） |

<その他自然条件>

- ・ 落雷の音が確認できた場合。三日月ホテル下へ避難誘導
- ・ 視界が確保できないほどの大雨。（1 時間に 20mm程度）
- ・ 明らかに台風のウネリを受ける可能性がある場合
- ・ 赤潮の発生
- ・ クラゲの大量発生

<その他の人的条件>

- ・ 重油や汚染物質の漂着
- ・ その他危険物の漂着

5. 津波の場合

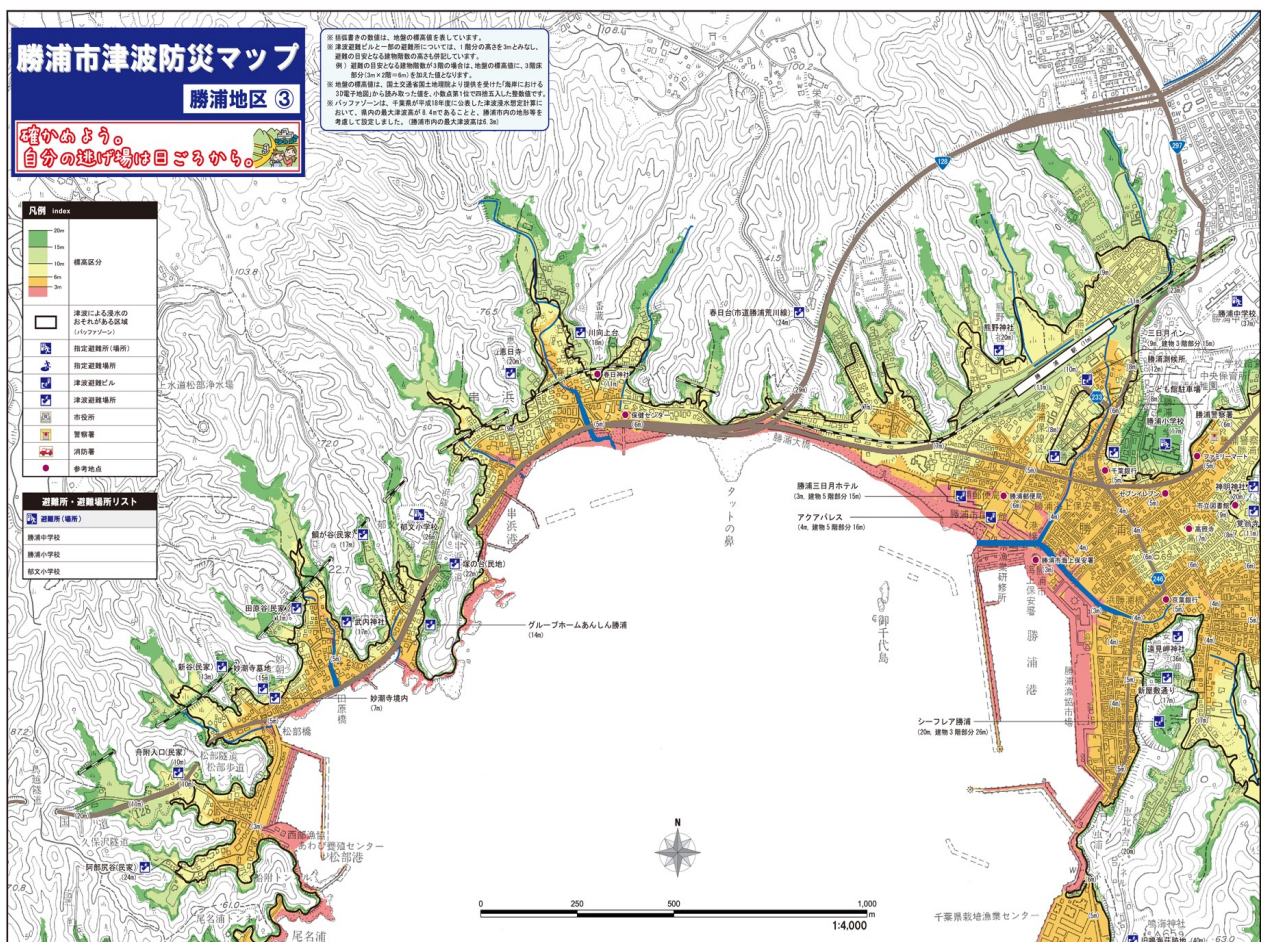
津波注意報・津波警報のいずれが大会中に発令された場合、墨名地区の緊急避難指示に応じてライフセーバーは速やかに避難を率先する。

津波の発生連絡は、本部放送担当者が放送機器を使い会場全体に伝える。海にいるライフセーバーは競技者を速やかに陸へと誘導する。救護船、ジェットスキーも導引する。指示は本部より出します。

ハザードマップは会場本部付近の最も目立つところに設置する。

参加者名簿、スタッフ名簿は事務局吉田が持ち出し、最終避難場所にて点呼を行う。

★避難場所➡ホテル三日月5階



6. 事故発生対応フローチャート

① 事故発生

- ② 第一発見者がホイッスルを吹き事故発生を知らせる
- ③ 最も近くにいるトランシーバー保持者が事故発生を本部へ伝える
本部スタッフ高梨もしくは森はすぐに通報した際の携帯電話を持って引上げ現場へ急行。救急車は臨海荘下の三区駐車場へ誘導。
- ④ 水上バイクドライバーも駆けつけライフセーバーの状況判断により、水上バイクにて本部テント下の砂浜へ輸送。
- ⑤ 本部より 119 番通報。心配停止状態であれば A E D を溺者上陸地点へ運ぶ。
- ⑥ 状況にもよるが競技は継続させることがベスト。
- ⑦ 医師の診断や処置を必要とする怪我などの場合（救急車を必要とはしない）のために緊急用車両を 1 台確保しておく。
- ⑧ ボード&パドルは近くのライフセーバーが回収する

<考えられる事故>

- ・溺水・脳血管疾患・心筋梗塞・筋痙攣・低血糖・切り傷・捻挫・熱中症・アレルギー
- ・食中毒・喘息発作・クラゲ・過呼吸・打撲

<実践可能な応急処置>

B L S （心肺蘇生と A E D）

R I C E 処置

バックボード固定

ストレッチ

保温

<緊急連絡先>

救急隊	1 1 9
塩田病院	0 4 7 0 - 7 3 - 1 2 2 1
亀田病院	0 4 - 7 0 9 2 - 2 2 1 1
勝浦海上保安署	0 4 7 0 - 7 3 - 4 9 9 9
勝浦警察	0 4 7 0 - 7 3 - 0 1 1 0
勝浦消防署	0 4 7 0 - 7 3 - 2 4 1 1
勝浦観光協会	0 4 7 0 - 7 3 - 7 4 4 2